

令和6年11月22日（金）  
益田市地域医療を守る市民の会

# 益田市における 在宅医療・介護連携の取組について

益田市高齢者福祉課 鎌谷

# 在宅医療・介護連携推進事業【7つの事業】

- ア) 地域の医療・介護資源の把握 委託
- イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ウ) 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の推進
- エ) 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援
- オ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援 委託
- カ) 医療・介護関係者の研修 委託
- キ) 地域住民への普及啓発 委託

# 令和6年度 在宅医療・介護連携推進事業 計画

## ■介護保険事業計画 第9期目標

- ・再入院・再発を防ぐための情報共有の仕組みづくり
- ・疾患管理の視点を含んだ「人生会議」の取組みについて検討、実施していく

## ■令和6年度 目標

- ・再入院・再発を防ぐための情報について目線合わせをし、情報共有のためのルールづくりについて検討、実施
  - ・ACPツールの検討
- ➡ 本人や家族の意志が入院→退院の場面で引き継がれ、その人らしい生活が続けられることを目指す。

・肺炎や心疾患、骨折等の疾患  
で入退院を繰り返している

・高齢者世帯だけでは疾患管理が困難  
・通院や買い物、通いの場等への移動・  
外出支援が必要

再入院・再発を防  
ぐための情報共有  
の仕組みづくり

入退院  
支援

日常の  
療養支援

疾患管理の視点を含めたACP（人生  
会議）の取組み

看取り  
支援

緊急時の  
対応



疾患管理の視点を含めたACP（人生  
会議）の取組み

・救急搬送時の医療同意  
（特に身寄りのない人）

# <医療・保健・介護従事者との連携強化> 多職種研修会の開催 ～学習・意見交換の場として～

## ①骨折予防（R6.10.16開催）

「再入院・再発を防ぐために（大腿骨骨折編）

～骨折リエゾンサービス（FLS）チームの活動を通じて～」



医師からの情報提供

益田赤十字病院副院長

整形外科 米井徹 先生

理学療法士からの情報提供

医師会病院リハビリテーション科

科長 野村道徳 氏

参加者

56名

## ②心不全（R7.1月開催予定）

## 方向性：

- ・ 地域医療・介護の現状を理解できるよう普及啓発し、予期しない緊急入院を減らすよう地域住民に働きかける
- ・ 自身の疾患理解や日頃のケア、受診タイミングなど日常の疾患管理からもしもの時のこと（終末期医療）まで考えられるようなきっかけづくり

## 具体策：

益田保健所主催ACP意見交換会への参加  
圏域共通の住民向けACPツール

「思いをつなげるシート」の作成・周知

### ①あんきな座談会

- ・ 保健活動と協働した啓発活動：健康増進課

### ②11月の普及月間や年末年始の期間を重点的に普及啓発

## 福祉医療ネットワークの開催

福祉職と医療職の顔の見える関係づくり

開催頻度：奇数月の第3水曜日

※Zoomによるオンラインまたは集合形式

- ①R6.5.15 (水) 能登の災害支援について
- ② 7.17 (水) 骨折の予防について
- ③ 9.18 (水) 在宅医から見た医療・介護の連携
- ④ 11.20 (水) 口腔に関わる情報共有について
- ⑤R7.1.15 (水) 介護者のメンタルケア、困りごとを話し合おう
- ⑥ 3.19 (水) 令和7年度のテーマについて